

主な出来事

【外政】

- CEMAC臨時首脳会合の開催
- ボンゴ大統領のエジプト訪問
- ボンゴ大統領のCOP23出席
- ボンゴ大統領によるケニア大統領就任式の出席
- ボンゴ大統領によるAU・EUサミットの出席

【経済】

- Assala Energy社によるシェル・ガボン鉱区の買収
- 2018年政府予算案の国会提出
- CEMAC経済成長率下方修正：0.2%
- 2017年上半期国債発行額：4兆1,104億CFAフラン

【内政】

1 CPNR代表による憲法改正プロセス反対に係る呼びかけ

4日、ジャン・ピン「新共和国のための連盟（CPNR）」代表は、現在の憲法改正プロセスは現政権の独裁化を加速させるとして、国民に対して反対を呼びかけた。（6日付UN, 5日付GR）

2 UPG代表によるファルUNOCA代表との会談

6日、ガボン国民連合（UPG）代表は、ファル国連中部アフリカ地域事務所（UNOCA）特別代表と会談し、現在のガボンの政治・社会危機は客年の大統領選挙に起因し、政治対話が必ずしも危機緩和に働いていない旨訴えた。（6日付GR）

3 ムーバンバ前副首相による憲法改正に係る批判

1日、ブルーノ・ベン・ムーバンバ前副首相（「復興のための連合（ACR）」代表）は、現在行われている憲法改正は受け入れられないとし、改正プロセスに先立って総選挙の実施を要請した。（7日付GR）

4 EUによる大統領選挙後の暴力行為に係る新たな捜査要請

7日、ンケア・ンジゲ法務大臣は、EUが新たに大統領選挙後の暴力行為に係る捜査を要請したことに対して、現在予備審査を行っている国際刑事裁判所（ICC）が適切な機関であるとして、その他機関による捜査を拒否した。（7日付GR）

【外政】

1 CEMAC臨時首脳会合の開催

10月31日、ンジャメナにて中部アフリカ経済通貨共同体（CEMAC）臨時首脳会合

が開催され、中部アフリカ諸国開発銀行（BDEAC）による総額17億CFAフランの
国境警備支援が発表された。また、オナ・オンド前首相がCEMAC委員長に正式に任命
されたほか、加盟国首脳によって域内の自由移動適用が決定された。（3日付UN）

2 ボンゴ大統領のエジプト訪問

4日から6日にかけて、ボンゴ大統領はシャルム・エル・シェイクにて開催された世界青
少年フォーラムに出席した。（6日付UN）

3 ボンゴ大統領による独議連・企業家との懇談

9日、Jonnes Selle 氏率いる独議連及び独経済ミッションが来訪し、ボンゴ大統領との間
で若年層の失業、環境保護に向けた相互互惠関係の更なる強化について協議した。（9日付
GM）

4 ボンゴ大統領のCOP23出席

ボンゴ大統領は、14日及び15日に独のボンにて開催された国連気候変動枠組条約第2
3回締約国会議（COP23）に出席し、ガボン及び気候変動に関するアフリカ首脳委員
会（CAHOSCC）議長として議論に参加した。（14日付UN）

5 ボンゴ大統領と赤道ギニア大統領特使との会談

23日、ボンゴ大統領は特使として派遣された赤道ギニア観光大臣と会談し、二国間関係
及び近日中に予定されているボンゴ大統領の赤道ギニア訪問について協議した。（24日付
UN）

6 ボンゴ大統領によるケニア大統領就任式の出席

28日、ボンゴ大統領はケニヤッタ大統領就任式に出席するためナイロビを訪問した。（2
9日付UN）

7 ボンゴ大統領によるAU・EUサミットの出席

29日及び30日、コートジボワールのアビジャンにて開催されたAU・EUサミットに
ボンゴ大統領が出席し、アフリカ及びヨーロッパの政治・経済問題について議論した。（2
9日付UN）

【経済】

1 中部アフリカ地域証券取引所のドゥアラ移転の決定

10月31日、ンジャメナにて開催されたCEMAC閣僚会議において、中部アフリカ地
域証券取引所（BVMAC）のリーブルビルからドゥアラへの移転が決定された。（1日付
UN）

2 2018年Doing Business ランキング：ガボン第167位

2018年Doing Business ランキングが発表され、ガボンは世界で167位、アフリカ大
陸で35位を記録した。（1日付GR）

3 IMFによる経済再建計画に係る評価

1日、IMFミッションは2017年のガボン経済成長率を0.8%と位置付け、経済再
建計画に向けたガボン政府の取組を歓迎したほか、マンガン、農業ビジネス等の経済多角

化に係る政府努力を評価した。(3日付UN)

4 Assala Energy 社によるシェル・ガボン鉱区を買収

1日, Assala Energy 社はシェル・ガボンの鉱区を6億2,800億米ドルで買収することを正式に決定した。(6日付UN)

5 2018年政府予算案の国会提出

7日, オタンド予算大臣及びイモンゴ・タタンガニ経済大臣は, 国会に対して総額2兆6,882億CFAフラン, 支出額2兆327億CFAフランの2018年政府予算案を提出した。(8日付GR)

6 2016年海外直接投資: 3,980億CFAフラン

2017年国際連合貿易開発会議(CNUCED)報告書によれば, 2015年以降ガボンの海外直接投資(FDI)は減少しており, 2016年は石油・鉱業分野を中心に3,980億CFAフランを記録した。(9日GM)

7 CEMAC経済成長率下方修正: 0.2%

2017年CEMAC域内の経済成長率は当初の予測値1.6%から, 0.2%に下方修正された。同数値は過去20年間で最低水準となる。(13日付GM)

8 2017年上半期: 石油生産量の後退: 536万トン

ガボンにおける2017年上半期の石油生産量は, 埋蔵量の減少, OPECの減産合意等を理由に536万トンに後退した。他方, 石油輸出量は2017年6月末には43.3%増の1兆892億CFAフランを記録した。2017年上半期の対ガボン石油輸入国は, 中国(41.9%)を筆頭に, マレーシア(12.6%), トリニダード・トバコ(10.4%), 豪(9.9%), 伊(7.2%)となる。(15日付UN)

9 2017年上半期: 鉱業生産量の増加: 220万トン

2017年上半期の鉱業生産量は48.4%増の220万トンを記録し, 輸出量及び販売量はそれぞれ53.2%, 53.5%増加した。(15日付GR)

10 ICT開発: ガボン第114位

国際電気通信連合(ITU)報告書が発表され, 2017年の情報通信技術(ICT)開発でガボンは114位, アフリカで15位を記録した。(16日付GR)

11 ガボン・世銀協力

17日, 世銀及びガボン政府は, 財政の健全化, 社会保障, 投資環境整備を目的とした3年間の総額2億ドルの融資協定に署名した。(18日付UN)

12 2017年上半期国債発行額: 4兆1,104億CFAフラン

2017年上半期の国債発行額は, 26%増の4兆1,104億CFAフランに上り, 対外債務は3兆1,240億CFA, 国内債務は147%増加の9,857億CFAフランとなった。(22日付UN)

13 2017年上半期: 新車販売状況: 35%減

2017年上半期の新車販売数は, 政府, 石油セクター等の顧客からの注文減を理由に, 前年度から35%減の1,108台を記録した。他方, 工業用車販売数は若干増で, 売上

高は32.8%増の149億CFAフランを記録した。(24日付UN)

14 2017年上半期：7,891億CFAフランの貿易黒字

2017年上半期貿易額が発表され、輸出は37.5%増加したのに対して、輸入は13.4%減少し、前年に比べ2倍となる7,891億CFAフランの貿易黒字を記録した。また、ガボンの貿易相手国・輸出国はそれぞれ仏(13.4%)、中国(38.4%)となった。(25日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボングローバル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP紙),EN(エコー・ノール紙)